



令和8年
新年号
第517号

謹賀新年

ご挨拶

第12飛行教育団司令
兼防府北基地司令
一等空佐 宮崎 剛



防府北基地の隊員諸官、御家族の皆様そして平素よりご支援、ご協力を頂いております地域の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年、防府北基地は、計画どおり一年の業務を執行することができました。各種教育訓練をはじめ、基地開設70周年防府北基地開放行事、航空学生制度創設70周年記念行事、地域の行事においては、防府おどりへの参加、ほうふスポーツフェスタや防府読売マラソン大会への協力等、これらは当基地の諸協力団体の方々、地域の皆様方の基地に対するご理解、ご協力の賜物であり、改めて基地司令として深く感謝する次第であります。

一方、我が国を取り巻く安全保障環境は、様々な安全保障上の課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、一層厳しさを増しています。このような中、未

来の航空自衛隊を担う強くしなやかで逞しい操縦者の育成という責務を負っている当基地も新たな時代に適応した操縦者の育成を図るため、日々、各隊員が奮闘している毎日です。

また、皆さまもご存じのとおり防府北基地には宇宙関連部隊が編成され、防府北基地は空自操縦者の登竜門としての機能だけでなく、宇宙関連部隊の機能を有する基地となっております。

航空自衛隊そして防府北基地は、継承するものは継承し、変えるべきものは変えて、どのような情勢の変化にも的確に対応すべく日々研鑽を続けております。また、我々が任務を遂行するためには、地域の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。引き続き、地域の皆様との共存共栄に専心努力していく所存でありますので何卒格別のご厚意とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、隊員諸官と御家族の皆様、そして地域の皆様のご健勝並びにご多幸を祈念し、新年の御挨拶といたします。

防府市長 池田 豊



新年明けましておめでとうございます。

航空自衛隊防府北基地の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

皆様、我が国の平和と安全を守るため、日夜厳しい訓練に励まれ、崇高な任務に当たられていることに対し、深く敬意を表します。

また、平素から、本市の行事や地域活動に格別の御理解、御協力をいただいていることにつきまして、心から感謝申し上げます。

さて、本市におきましては、昨年1月、新たなまちづくりと防災の中心となる、市役所新庁舎が開庁いたしました。市内を一望できる8階の展望回廊には、市内外から、連日多くの皆様にお越しただくなど、本市の新たなランドマークとなっております。たいへん嬉しく思っています。

そして今年、市制施行90周年となる記念すべき年であり、本市のまちづくりの基本構想を示す「第6次防府市総合計画」がスタートする年でもあります。今年の干支である「午」は、行動力や活発さ、前進を象徴するといわれており、まさに今年の防府市にふさわしいと考えています。「明るく豊かで健やかな防府」の実現を目指し、「第6次防府市総合計画」に掲げた施策にしっかりと取り組んでまいります。

新たな防府の未来を切り開くべく、市制100年に向け、市職員一丸となって、意気軒昂と邁進してまいりますので、航空自衛隊防府北基地の皆様におかれましては、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますことを祈念いたしまして、年頭の御挨拶といたします。

自衛隊防府地区協力会
会長 島田 教明



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

防府北基地の皆さま、ご家族の皆さまにとつて、2026年が健康で実り多き一年となりますよう、心から念願申し上げます。

昨年10月に高市早苗総理の下新政権が発足しました。早速自衛隊の処遇改善に関する閣僚会議を開かれ、東アジアの安全保障環境を踏まえ、自衛隊の任務の幅の広がりに見合う処遇改善や住環境の整備に関する基本方針を策定いたしました。

これらは、国を守り、私たちが当然のように享受している平和な暮らしを守るため、緊張の中で昼夜分かたず精励されている自衛隊員の皆様への感謝と敬意に他なりません。

防府北基地におかれても、我が国の空を守る優れた隊員の育成

に鋭意努めておられるところであり、また毎年、入隊後の厳しい訓練を経て、凛々しく逞しくなっていくられる航空学生の皆様を拝見するたびに、国民の一人として心強くもあり頼もしくも感ずるところです。

自衛隊は今年発足72年目を迎えます。今年は午年、明るく活発で行動力がある、挑戦や飛躍を象徴する年ともされます。

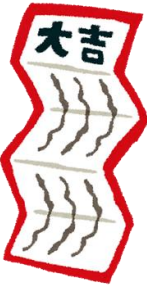
防府北基地の皆さま、ご家族の皆さまにとつて、2026年が健康で実り多き一年となりますよう、心から念願申し上げます。

昨年10月に高市早苗総理の下新政権が発足しました。早速自衛隊の処遇改善に関する閣僚会議を開かれ、東アジアの安全保障環境を踏まえ、自衛隊の任務の幅の広がりに見合う処遇改善や住環境の整備に関する基本方針を策定いたしました。

これらは、国を守り、私たちが当然のように享受している平和な暮らしを守るため、緊張の中で昼夜分かたず精励されている自衛隊員の皆様への感謝と敬意に他なりません。

防府北基地におかれても、我が国の空を守る優れた隊員の育成

に鋭意努めておられるところであり、また毎年、入隊後の厳しい訓練を経て、凛々しく逞しくなっていくられる航空学生の皆様を拝見するたびに、国民の一人として心強くもあり頼もしくも感ずるところです。



第12飛行教育団副司令
1等空佐 高梨 雄一



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、防府北基地及び第12飛行教育団に対する皆様からの温かいご支援とご協力により、当団の諸活動が円滑に遂行できました。日頃からの皆様のご理解とお力添えに対し、心より厚く御礼申し上げます。

特に、昨年6月には基地創設70周年の節目の年として記念式典を挙行いたしました。また、諸般の事情により航空祭改め基地開放行事として、これまで70年間の長きにわたり基地を支えていただいた皆様への感謝を込めた特別なイベントを実施いたしました。そして11月には航空学生制度創設70周年記念式典も盛大に行うことができました。これらのイベントを成功裡に終えることができましたのも皆様のご理解ご協力のおかげであり、重ねて感謝申し上げます。

令和8年の午年も、当団は皆様のご期待に応えるべく引き続き周辺地域の皆様と連携しつつ、部隊の更なる発展のため駿馬のごとく疾走してまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、隊員諸官とご家族の皆様、そして周辺地域の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年始のご挨拶とさせていただきます。



第12飛行教育団准曹士先任
兼防府北基地准曹士先任
准空尉 杉尾 勉



ほうふ北新聞ご愛読の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は防府北基地創設及び航空学生制度70周年という節目の年として記念行事を実施し、参加された多くの皆様とお話しをさせていただきました。本年も皆様と航空祭等、様々な機会を通じてお会いできるのを楽しみにしております。

さて、日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、教育を主たる任務とする我が部隊は将来の逞しい航空自衛隊戦闘操縦者を育てるため隊員一丸となり任務に邁進しています。また、同じ基地内で宇宙部隊が宇宙空間の安定的利用のため日夜活動してくれています。私も准曹士先任として、これからの自衛隊を担う若い隊員の育成に引き続き力を注いで行く所存ですので、本年も皆さまの暖かいご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本年が皆様にとって輝かしい一年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

飛行教育群司令
1等空佐 那須誠一郎



新年明けましておめでとうございます。

我が飛行教育群は航空自衛隊の将来を担う操縦者の養成を主任務にしております。これに関連する昨年の航空自衛隊の出来事を顧みますと、小松基地にF-35Aが、新田原基地にF-35Bが配備されました。また、9月には初めて戦闘機がイギリス及びドイツを親善訪問しました。このように、従来の任務や訓練の実施に加え、新たな装備の導入や活動範囲の拡大が年々進んでいる状況です。私たちはこのような状況の変化にも対応できる、逞しくかつ明朗活発な操縦者を育成することを目指しています。

今年も皆様のご理解とご協力を賜りつつ、精一杯、任務にまい進する所存です。皆様にとっても喜びに満ち溢れた一年となることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

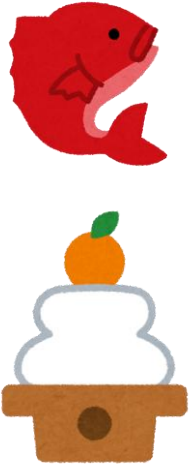
航空学生教育群
1等空佐 大島 悟



新年明けましておめでとうございます。

平素は、航空学生の教育・訓練にご理解と多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様は温かいご支援のおかげで、学生たちは厳しい訓練に果敢に挑み、将来の空自操縦者、幹部自衛官として必要な資質を培っております。

航空学生が志を高く持ち続けるためには、基地全体、そして地域の皆様への支えが不可欠であり、改めて厚くお礼申し上げます。



「Touch the sky」夢の実現に向けて、学生、所属隊員は、今年も未来の空自の屋台骨となるよう全力を尽くす所存です。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

整備補給群司令
2等空佐 菊地 優



皆様、新年おめでとうございます。

昨年は国民生活を揺るがす天変地異等もなく穏やかな1年であり、基地開庁70周年及び航空学生制度発足70年の節目を迎え、各種行事が盛大かつ華やかに行われた1年でした。大過なく過ごすことができたこと、本誌をお借りして御礼申し上げます。

整備補給群は、12教団任務を支える土台であり、12教団という屋台骨を支える組織です。我が国を取り巻く安全保障環境が変化している今だからこそ、12教団の任務遂行を支える「縁の下の力持ち」として、本年も任務を粛々と遂行していく所存です。

本年も航空祭等の行事を通じて、皆様とお会いできる事楽しみにしています。活気ある精強な部隊を目指し、群一丸となって任務及び訓練にまい進する所存ですのでご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆ながら、読者の皆さまとご家族様のご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

基地業務群司令
2等空佐 山路 史朗



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平素より基地業務群に対するご支援とご協力を賜りまして熱くお礼申し上げます。

昨年は防府北基地70周年をむかえ基地開放行事も行われました。当日の天候はいにく曇天で時折雨もちらつきましたが、基地業務群が中心となり「餅まき」を計画・実施しました。山口県では「餅まき」が非常に盛んであることは皆様ご存じかと思えます。約半年前から準備を始め、隊員がそれぞれの役割を見事にこなし、当日は約11000個のお餅を盛大にまくことができました。

今年も次期初等練習機の受け入れ準備や宇宙作戦群等の施設建設が本格化し、防府北基地の重要性がますます増大します。操縦者の育成及び航空学生教育を下支えすることはもちろんのこと、基地業務群は「プロ意識の向上」を指導方針として掲げつつ、ますます多様化する基地機能の維持を念頭に常に向上心を持って隊員一同任務に邁進していく所存です。

本年も引き続きあたたかいご支援とご協力を頂きますようよろしくお願ひ致します。

最後になりますが、読者の皆様とご家族にとって素晴らしい一年なることを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

第13飛行隊長
兼防府分屯地司令
2等陸佐 小林 正和



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十二月一日付で陸上自衛隊第十三飛行隊長兼防府分屯地司令を拝命され約1ヶ月が経ち、地域の皆様からの期待を

任以来、身に染みて感じております。昨年は、広島県、岡山県及び島根県で発生した林野火災による空中消火活動に部隊を派遣し、民生の安定に協力させていただきました。本任務を安全確実に完遂することができたことも地域の皆様の日々の訓練に対するご理解と応援並びにご厚情の賜であると心より感謝を申し上げます。

今年も引き続き、任務を完遂できる実力を養成するため、訓練に邁進するとともに、各種事態等に即応して、国民の負託に応えて参る所存です。

結びに、皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和7年12月1日付で小林 正和二等陸佐が第30代第十三飛行隊長兼防府分屯地司令に着任しました。

- 出身 栃木県
- 飛行幹部候補08A
- 主な職歴
 - 航空学校第1教育部 航空運用教官
 - 幹部学校第62期指揮幕僚課程
 - 東部方面総監部防衛部 訓練科
 - 統合幕僚学校企画室
 - 東北方面総監部防衛部 防衛課
 - 統合幕僚監部運用部 運用第2課
 - 内部人事教育局付 陸幕人事教育部付
 - 中部方面総監部人事部付・大阪関西万博危機管理局
 - 中部方面総監部 人事部付



第13飛行隊副隊長
3等陸佐 孝橋 正行



新年明けましておめでとうございます。昨年八月一日付をもって、陸上自衛隊第十三飛行隊副隊長に上番し、早くも五か月が過ぎ、防府北基地や防府の街等、環境にも慣れてまいりました。

山口県においては、防府市をはじめ近隣自治体や関係者、地域住民等からのご支援・ご理解・ご協力厚く、いつも感謝に堪えません。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、第十三飛行隊は令和八年度末をもって、中部方面航空隊に集約を予定しており、部隊にとっても私にとっても激動の一年になるものと思います。しかしながら、第十三飛行隊の伝統は、防府北基地、防府分屯地と共に発展し、今後も成長を続けなければならないと思っております。

最後に、第十三飛行隊は、防府分屯地司令 小林2佐の下、防府北基地の一員として、更なる飛躍をお誓い申し上げます。に、隊員皆様や御家族の皆様、そして地域の皆様のご健勝並びに御多幸を祈念し、新年の御挨拶といたします。

第13飛行隊先任上級曹長
准陸尉 藤坂 芳雄



皆様あけましておめでとうございます。謹んで新春をお祝い申し上げます。

第十三飛行隊先任上級曹長に上番し、早一年九カ月経ちました。この間多くの皆様に支えられ、各種任務等達成出来ましたことを衷心より感謝申し上げます。

さて我が国の周辺情勢は、軍事力の更なる強化や軍事活動の活発化がますます顕著になっていくところであり、この様な情勢の中、国民を守る自衛官としてあらゆる状況に即応し得る様、第十三飛行隊全隊員が一丸となり日々様々な訓練等に邁進しているところであります。この様な各種訓練、行事等に際しご理解賜っていますことを心より感謝申し上げます。

今年も引き続き、防府北基地及び防府分屯地の更なる団結を図れるよう各種行事等には積極的に参加し、明るく楽しく充実した日々を送りたいと思っております。防府北基地及び防府分屯地の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

防府気象隊長
3等空佐 大田 憲史



謹んで新春の祝詞を申し上げます。昨年、12月15日をもちまして防府気象隊長として着任いたしました。防府北基地は、気象幹部としての初任地であり、感慨深い気持ちで新年を迎えております。

昨年は、防府北基地70周年の節目を迎え、共に歩んできた防府気象隊も皆様の御理解とお力添えのおかげで気象支援を円滑に実施できました。本誌をお借りしてお礼申し上げます。

さて、空自における航空気象においては、引き続き変革の時期を迎えており、各種作戦を遂行する飛行部隊等に対し、より効率的に航空気象機能を発揮し得る態勢（体制）構築ため、観測自動化及び遠隔気象支援（予報）を推進しています。防府気象隊を含めた一部の気象隊では、昨年、観測器材のプログラム改修を終え、本年から夜間及び休日における観測自動化を開始する予定です。また、一部の気象隊においては、飛行部隊

等に対し、夜間及び休日における遠隔気象支援を試行しております。今後は、全国の気象隊においても夜間及び休日における観測自動化及び遠隔気象支援（予報）が実施できる態勢（体制）の構築を目指しています。

防府気象隊は、これら気象支援の変革の時期においても、これまでと同品質以上の気象情報を提供するため隊員一丸となって邁進する所存であります。変革の折、ご不便をおかけすることがあるかと存じますが、今後とも、御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

結びに、本年が隊員皆様と御家族の皆様にとって輝かしい1年となることを祈念いたしまして新年の御挨拶とさせていただきます。

防府管制隊長
3等空佐 外 健二



新年明けましておめでとうございます。

昨年は大阪・関西万博が開催され「技術の進化」や「未来への挑戦」などが連日話題となり、公式

第2宇宙作戦隊長
2等空佐 小松崎 猛孝



キャラクターのミヤクミヤクが流行語大賞の最終選考にノミネートされるなど一年を通して大いに盛り上がりを見せました。

防府管制隊においては、盛り上がりを見せた万博のように、これまでの伝統を脈々（ミヤクミヤク）と受け継ぎ、隊員一人ひとりの技術を進化させ、新たな課題に挑戦し続ける部隊を目指して参ります。特に、我々の任務である航空管制業務においては、基地所在部隊及び地域住民の皆様にご安心いただけるよう努力を重ね、磨き上げる所存です。

今年、冬季五輪・パラリンピック、WBCやサッカーW杯など世界的なスポーツイベントが開催されます。日本全体が一丸となり熱気に包まれ、皆様ご幸福を享受できる一年になる事を切に願います。新年の御挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

明けましておめでとうございます。宙利用も確保していくことの必要性皆様におかれましては、清々しい新年を明確化したものです。私たちは、年をお迎えのこととお喜び申し上げます。宇宙空間を利用した通信等の各種サービスが円滑に利用できるよう

第2宇宙作戦隊も早いもので3度日々活動しております。防府北基地は、操縦者の揺籃の地には、引き続きご協力とご支援を頂いております。電波の分野での宇宙部隊の歴史がスタートした地でも

さて昨年7月、防衛省が「宇宙領域防衛指針」を発表しました。これは、宇宙空間の利用は、国民生活の基盤かつ不可欠なものとなっております。

防衛省・自衛隊が任務遂行上利用する衛星を防護するのは当然のこと、益々のご健勝とご多幸を祈念し、国民生活の基盤たる政府・民間の宇宙年の挨拶とさせていただきます。

第2宇宙システム管理隊長
2等空佐 山田 匡秀



新年あけましておめでとうございます。第2宇宙システム管理隊長は、皆様方のご支援をいただきつつ本年3月には部隊創設2周年を迎えることとなりました。昨年は防衛大臣の視察を受察する等、視察のほかにも数多くの関係者の方々の研修を受け入れ、宇宙部隊への関心の高さを肌で感じながら任務の重要性を再認識しつつ、理解促進を図った年でもありました。

昨年7月、防衛省が策定した「宇宙領域防衛指針」には「宇宙空間の利用は、通信、観測、測位等の面で国民生活の基盤そのもの。国民の命や平和な暮らしにとって、宇宙空間の利用は不可欠」とされています。当隊はこの重要とされる宇宙空間の安定的利用を担う部隊として、全隊員が誇りと責任感を持って任務の遂行と部隊の精強化に向けより一層邁進してまいります。

本年も皆様の温かいご支援及びご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度

基地追悼式



令和7年度11月21日（金）に令和7年度防府北基地及び防府分屯地追悼式を挙行了しました。

これは、防府北基地及び防府分屯地で殉職された航空自衛隊及び陸上自衛隊の隊員の御霊を追悼し、そのご功績を讃えるため毎年行っているものです。式典には、殉職隊員のご遺族、ともしび会中国四国支部長をはじめ基地協力団体等の代表者の方々など多数のご来賓のご臨席のもと厳かに執り行われました。

防府北基地司令吉田1佐は追悼の辞で「諸先輩方の勇姿と崇高な精神を、隊員一同、しっかりと心に刻み、これから先も絶やすことなく、受け継いでいくとともに、大切な仲間を二度と失わないためにも、不断の努力を積み重ね、整齊と任務を遂行できるよう全身全霊で取り組むことを、ここに固くお誓い致します。」と述べました。

本追悼式を通じ、隊員一同は、殉職隊員のご功績に思いを致し御霊の安らかならんことを祈念するとともに安全及び任務遂行への誓いを新たにしました。

第12飛行教育団司令兼ねて防府北基地司令に宮崎 剛1佐が着任



令和7年12月14日付で宮崎 剛1等空佐が第39代第12飛行教育団司令兼ねて防府北基地司令に着任しました。着任の辞において指導方針として「継承と創造」を掲げられました。

なお、前任の吉田 昭則1等空佐は12月1日にラストフライトを終えられ、12月14日付で空将補に特別昇任し、定年退官されました。



- ▼ 出身 大分県
- ▼ 期別 航学44期
- ▼ 特技 操縦
- ▼ 略歴
 - 南西航空方面隊司令部防衛部防衛課長
 - 第12飛行教育団航空学生教育群司令
 - 第5航空団飛行群司令
 - 第2航空団副司令

野外総合訓練



第80期航空学生は、10月21日（火）から24日（金）の間、陸上自衛隊むつみ演習場において野外総合訓練を実施しました。

初めて足を踏み入れる地での地物地形を活用した攻防は10月下旬の山の寒さの中、食料、水分、睡眠等が制限された状況で行われ、非常に緊張感のあるものになりました。基幹隊員が扮するゲリラとの戦闘は未知の連続で特に印象に残っています。60km徒歩行進では各員が勤務を全うしながらの訓練となりました。前日までの疲労もある中、時には助け合いながら全員で完歩することができました。全般を通し、初めて経験する環境での訓練は厳しくも楽しく、同期間の絆がより強固なものになったと感じました。

今までの訓練の成果を集大成した野外総合訓練で得たものは大きく多く、貴重な経験をすることができたと思います。この経験を糧に今後の課程生活への志をさらに高く持ち、今後も精進していきたいと思えます

2区隊 大西士長

航空学生制度創設70周年 記念行事



令和7年11月15日（土）、さわやかな秋晴の天候にも恵まれ、防府市長の池田様、山口県自衛隊協力会会長の島田様、航空教育集団司令官の小笠原空将をはじめとする部内外からの多くのご来賓、そして、ご遺族、先輩方、現役の会員、基幹隊員の皆様のご臨席を賜り、航空学生制度創設70周年記念行事が盛大に挙行されました。

追悼行事では、航空自衛隊の発展に寄与された航空学生出身殉職者に対し哀悼の意をささげ、記念式典においては、多くの方にご祝辞を賜りました。

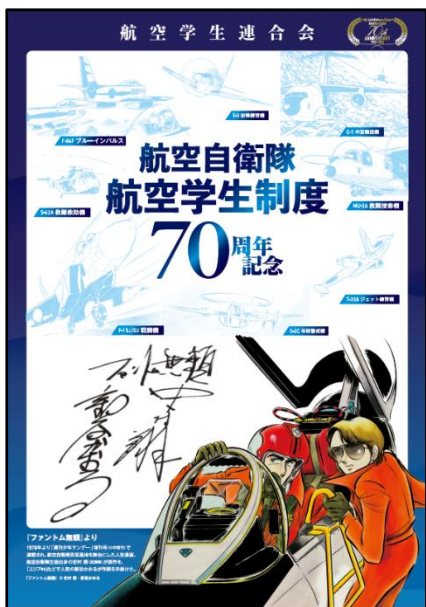
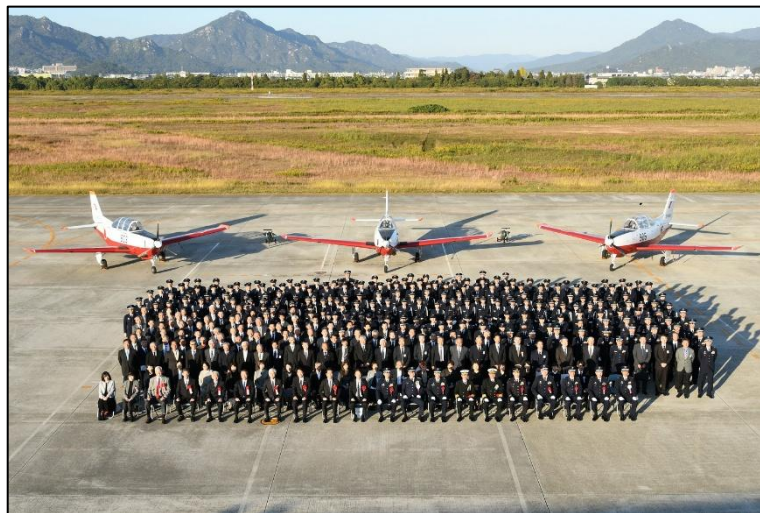
また、記念行事の終盤には、航空学生出身操縦者による展示飛行、築城基地所属F-2による慰霊飛行、そして昭和35年から続く現役航空学生のファンシードリルが花を添えました。

航空学生制度を70年間支えてくださった多くの皆様に感謝

するとともに、これからも長く組織に必要とされる人材育成の礎としての役割を深く実感する1日となりました。

行事の開催に際して、ご協力、ご支援いただきました、防府北基地の皆様、航空学生連合会の皆様に改めて心から感謝申し上げます。

航学群司令 大島 1 佐



方向舵



「やってみせ 言って聞かせて
させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」

「やってみせ 言って聞かせて させてみて
誉めてやらねば 人は動かじ」

聞いたり見たり知っている方も多いのではないかと思います。これは、旧日本海軍連合艦隊司令長官 山本五十六大将の有名な語録（格言）の一つです。

私は、以前編単隊長を命ぜられた時、この格言を念頭に部隊運営に努めました。よく若い隊員を一人前に育てることが難しいと言われるのですが、昨今、Z世代と言われる若者達は、

実際のところどうでしょうか？

若者個人個人の状況に応じて格言のとおり誠心誠意教育、指導にあたれば、彼等も一生懸命努力し応えてくれると感じましたし、地道に繰り返し教え刷り込むことが大事だと思いました。また、普段から挨拶や日常会話などを積極的に行い、適度な人間関係を構築しておくことも重要であると感じました。

若者一人一人に何事にも真剣に向き合うことが大事だと思います。以上、私の拙い経験でありましたが、皆様の一助となれば幸いです。

飛行教育群第1飛行教育隊 古賀 3 佐

年男・年女 今年の抱負

整補群

重友 3尉 「今年は飛躍の年。
駆け抜ける1年にします。」
立山 1曹 「『不言実行』自分に言い訳をしない」
高橋 2曹 「駿馬のごとく勢いに満ちた飛躍の1年」
山口 2曹 「天馬空を行く。」
河野 3曹 「ちょこっとの幸せを大切に」
田中 士長 「健康第一を心に誓い健やかな一年にします！」

2戦隊

小宮山 2佐 「公私共々リスキリング！」
赤岩 2曹 「ベンチプレス70kg」
戸笈 2曹 「20kg減量、ハーフマラソン
挑戦、英語能力向上」
日朝 2曹 「体力測定1級」
矢取 2曹 「心穏やかに、笑って過ごせる
1年にします♪」
相川 3曹 「各種ハラスメント根絶」
阿部 3曹 「ハーフorフルマラソン完走！」
小淵 3曹 「事故防止」
山下 3曹 「広域切れて手当0%だけど
やる気と元気100%！！」
三宅 非常勤 「頑張るぞ！ヒヒーん！！」

飛教群

川村 2佐 「おぼろげに浮かんで来たんです。
48という数字が。」
前田 3佐 「マグロ爆釣！！」
桑原 3佐 「現状を維持する
(今が最良の状態です!)。」
桑山 3佐 「10歳は若く見られるように
なりたい！」
田中 2曹 「マラソン大会
4時間以内完走！！」

2シス管隊

長澤 1曹 「家内安全、無病息災」
松田 3曹 「無病息災、夫婦円満
で頑張ります。」

管制隊

外 3佐 「気持ちは20代で頑張ります。」
工藤 (弦) 2尉 「家内安全」

航学群

丸尾 1尉 「一歩ずつ、
うまく歩みを進めていきます」
高木 1尉 「公私にわたり
様々なことに挑戦します！！」
吉岡 1曹 「健康第一」
渡辺 士長 「全力で全力で全力で
頑張ります！」

基群

清水 曹長 「モチベーションは一時、習慣化は一生の財産」
春日 3曹 「順風満帆な充実した日々を過ごしたい。」
重宗 3曹 「馬のように軽やかに読売マラソンサブ3達成」
山本 3曹 「何事にも安全第一！！」
一瀬 士長 「健康第一に、穏やかに過ごしたいと思います。」
宮原 士長 「馬く行く1年」
渡部 士長 「飛躍の年にします。」
高儀 1士 「馬のように速く頑張っていきます。ひひ〜ん」
佐川 技官 「健康第一に、日々精進」

司令部

佐々木 1曹 「何をやってもウマくいく！
頑張ります！」
猪辺 士長 「今年こそウマいものを
思うままに！！」

